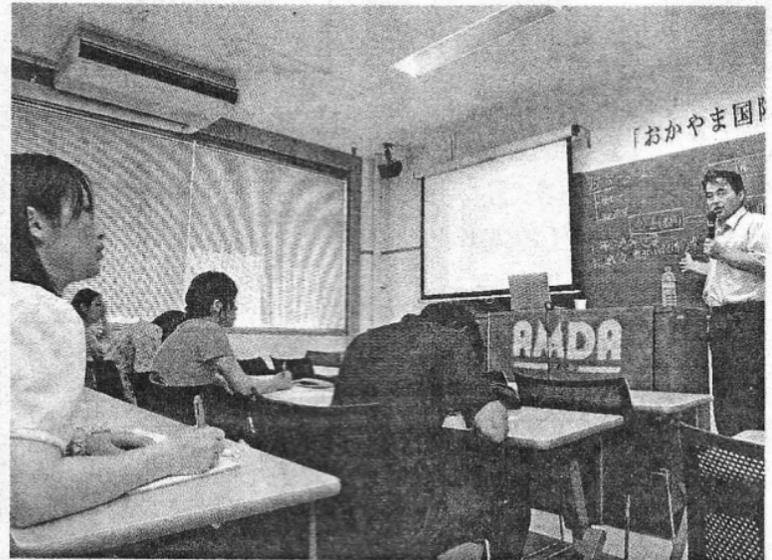


# 国際貢献 実践で理解

## おかやま国際塾開講

### 学生8人来月モンゴルへ



菅波代表の講義を熱心に聴講する「おかやま国際塾」の受講生

県内の学生に体験を通して国際貢献活動へ

の理解を深めてもらう「おかやま国際塾」(同塾実行委主催)が17日、岡山市北区津島中の岡山大で開講した。応募者の中から面接で選ばれた学生8人が受講。1カ月間の研修を受けた後、モンゴルで行われる国際医療ボランティアAMDA(本部・岡山市)の医療支援活動などに参加する。初日は開講式があり、塾実行委員長の菅波茂AMDA代表が「異なる文化の人たちとどう関わるべきか、実践しながら考えても

らいたい」とあいさつ。続いて研修が始まり、菅波代表ら4人がAMDAの活動や国連憲章について講義。学生たちは真剣な表情でノートを取っていた。岡山大医学部2年川尻智香さん(23)は「どうすればAMDAのように世界中で支援活動が行えるのかを学びたい」と話していた。

同塾はAMDAと同大教員でつくる実行委が初めて実施。受講生は8月下旬にAMDAがモンゴルで行う医療支援活動に同行して健康診断を手伝ったり、現地学生との交流でAMDAの活動について英語で紹介したりする。(三島翔)